

特掲診療料の施設基準に係る届出書

| | |
|-----------|--|
| 保険医療機関コード | |
| 又は保険薬局コード | |

| | |
|------|--|
| 届出番号 | |
|------|--|

連絡先

担当者氏名 :

電話番号 :

(届出事項)

(選択してください) (選択してください) の施設基準に係る届出

↓チェックをしてください。すべての基準に適合していない場合には届出ができません。

- 当該届出を行う前6か月間において当該届出に係る事項に関し、不正又は不当な届出（法令の規定に基づくものに限る。）を行ったことがないこと。
- 当該届出を行う前6か月間において療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等第三に規定する基準に違反したことがなく、かつ現に違反していないこと。
- 当該届出を行う前6か月間において、健康保険法第78条第1項及び高齢者の医療の確保に関する法律第72条第1項の規定に基づく検査等の結果、診療内容又は診療報酬の請求に関し、不正又は不当な行為が認められたことがないこと。
- 当該届出を行う時点において、厚生労働大臣の定める入院患者数の基準及び医師等の員数の基準並びに入院基本料の算定方法に規定する入院患者数の基準に該当する保険医療機関又は医師等の員数の基準に該当する保険医療機関でないこと。

標記について、上記基準のすべてに適合しているのので、別添の様式を添えて届出します。

令和 年 月 日

保険医療機関・保険薬局の所在地

及び名称

開設者名

九州厚生局長 殿

- 備考1 [] 欄には、該当する施設基準の名称を記入すること。
- 2 □には、適合する場合「✓」を記入すること。
- 3 届出書は、1通提出のこと。

調剤ベースアップ評価料の施設基準に係る届出書添付書類

◎以下について確認の上、必ず☑を記載すること

※項目が未チェックです

- 毎年8月に、前年度の賃金改善の取組状況について、様式104「賃金改善実績報告書」により報告すること、算定を行っている年度における賃金改善の取組状況について、様式104「賃金改善中間報告書」により報告することについて、理解しました。
- 本評価料による収入については全て対象職員の賃上げに充当することについて、誓約します。
- 同一グループに属する場合は、同一グループに属する他の全ての保険薬局において本様式を用いて地方厚生(支)局長に届け出ています。(または、どのグループにも属していません。)

年 月 日 開設者名 :

◎必要記載項目

1 保険薬局コード

保険薬局名

2 対象職員の該当

対象職員の該当あり

※ 対象職員とは、当該保険薬局に直接勤務する職員をいう。ただし、他の保険薬局又は事業所を主たる勤務先とし、当該保険薬局における調剤業務等に直接従事していない管理的業務に専従する者(本部職員、エリアマネージャー等)は、対象職員に含めない。

(ただし、事業主、使用者、開設者、管理者、40歳以上の薬剤師並びに業務委託により勤務する者を除く。)

「賃金改善実績報告書・ 賃金中間報告書（調剤）」

1. 調剤ベースアップ評価料を算定する保険薬局については、別添1の「実績報告書・中間報告書」を提出すること。
2. 法人内又はグループ内の同一の給与体系に基づく複数の保険薬局において、保険薬局の「月額賃金総額」及び「対象職員数」を通算して届出を行う場合には、別添2「実績報告書・中間報告書（法人）」を用いること。

(保険薬局)

(令和 年度分)

保険薬局コード
保険薬局名

| |
|--|
| |
| |

I. 提出書類の種類

- 賃金改善中間報告書
- 賃金改善実績報告書

II. 賃金改善実施期間及びベースアップ評価料算定期間

(1) 賃金改善実施期間

| | | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|---|---|--|----|
| 令和 | 年 | 月 | ～ | 令和 | 年 | 月 | | ヶ月 |
|----|---|---|---|----|---|---|--|----|

(2) ベースアップ評価料算定期間

| | | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|---|---|--|----|
| 令和 | 年 | 月 | ～ | 令和 | 年 | 月 | | ヶ月 |
|----|---|---|---|----|---|---|--|----|

III. ベースアップ評価料による収入の実績額【(2)の期間中】

| | | |
|--------------------------|--|---|
| (3) 調剤ベースアップ評価料による収入の実績額 | | 円 |
|--------------------------|--|---|

- 基本給等総額については1か月当たりの額を記載してください。
- ※ 「基本給等総額」とは、基本給等の合計をいい、賞与、期末・勤勉手当等特定の時期にのみ支払われる手当を含まない。
- ※ (9)のペア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費(事業者負担分等を含む。)等の増加分に用いた額も必ず記載すること
- 対象職員とは、当該保険薬局に勤務する職員をいう。
- ※ ただし、事業主、使用者、開設者、管理者、40歳以上の薬剤師並びに業務委託により勤務する者を除く。

【ベースアップ評価料対象職種について】

IV. ベースアップ評価料対象職員(全体)の月額賃金総額に係る事項

| | | |
|--|--|---|
| (4) 対象職員の常勤換算数【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 人 |
| (5) 当該評価料を算定した年度に勤務している対象職員の基本給等総額【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 円 |
| (6) 令和8年3月時点の給与体系を、当該年度に勤務している職員の賃金に当てはめた場合の対象職員の基本給等総額 | | 円 |
| (7) 基本給等総額に係る賃金改善実績額(ペア実績額)(1か月分)【(5) - (6)】 | | 円 |
| (8) ペア等による賃金増率【(7) ÷ (6)】 | | % |
| (9) 上記(8)以外で、ペア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費(事業者負担分等を含む。)等の増加分に用いた額 | | 円 |

V-1. 事務職員の基本給等総額に係る事項

| | | |
|--|--|----|
| (10) 対象職員の常勤換算数【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 人 |
| (11) 当該評価料を算定した年度に勤務している対象職員の基本給等総額【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 円 |
| (12) 令和8年3月時点の給与体系を、当該年度に勤務している職員の賃金に当てはめた場合の対象職員の基本給等総額 | | 円 |
| (13) 基本給等総額に係る賃金改善実績額(ペア実績額)(1か月分)【(11) - (12)】 | | 円 |
| (14) ペア等による賃金増率【(13) ÷ (12)】 | | % |
| (15) 報告書届出年度の賞与の支給月数 | | か月 |
| (16) 前年度の賞与の支給月数 | | か月 |

V-2. 薬剤師の基本給等総額に係る事項

| | | |
|--|--|----|
| (17) 対象職員の常勤換算数【賃金改善実施期間（1）の開始月時点】 | | 人 |
| (18) 当該評価料を算定した年度に勤務している対象職員の基本給等総額【賃金改善実施期間（1）の開始月時点】 | | 円 |
| (19) 令和8年3月時点の給与体系を、当該年度に勤務している職員の賃金に当てはめた場合の対象職員の基本給等総額 | | 円 |
| (20) 基本給等総額に係る賃金改善実績額（ベア実績額）（1か月分）【（18）－（19）】 | | 円 |
| (21) ベア等による賃金増率【（20）÷（19）】 | | % |
| (22) 報告書届出年度の賞与の支給月数 | | か月 |
| (23) 前年度の賞与の支給月数 | | か月 |

VI. 保険調剤による収入の割合

| | | |
|------------------------------------|--|---|
| (24) 保険調剤による収入の総額【前会計年度における1年間の総額】 | | 円 |
| (25) 全ての収入の総額【前会計年度における1年間の総額】 | | 円 |
| (26) 保険調剤による収入の割合【（24）／（25）】 | | % |

※ 保険調剤による収入の総額：調剤報酬（保険外併用療養費を除く。）、介護保険、国、地方公共団体、保険者等が交付する補助金等に係るものの総額（労災保険に係るものを除く）。

VII. ベースアップ評価料による収入が対象職員へ充当されているか

| | | |
|--|--|-----------|
| (27) ベースアップ評価料による収入の実績額【（3）】 | | 円 |
| (28) 対象職員全体の賃金改善実績額における、保険調剤分（算定期間分）【（7）×（26）×（算定期間）】 | | 円 |
| (29) ベア等以外で、ベア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費（事業者負担分等を含む。）等の増加分に用いた額（算定期間分）【（9）×（算定期間）】 | | 円 |
| (30) 収入の実績額と賃金改善実績額の差分【（（28）＋（29））－（27）】 | | 円 |
| (31) ベースアップ評価料算定による収入額が対象職員への賃上げに実施されているか | | 賃金改善額充当済み |

本報告書の記載内容に虚偽が無いことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和 年 月 日

開設者名：

【記載上の注意】

- 「対象職員の常勤換算数」は、当該時点における対象職員の人数を常勤換算で記載すること。常勤の職員の常勤換算数は1とする。常勤でない職員の常勤換算数は、「当該常勤でない職員の所定労働時間」を「当該保険医療機関において定めている常勤職員の所定労働時間」で除して得た数（当該常勤でない職員の常勤換算数が1を超える場合は、1とする。）
- VIについて、大臣折衝において賃上げの実行性確保の観点から、「対象職員の賃金改善実績額」の総額が、「ベースアップ評価料により得られた収入額」の総額と「ベア等以外で、ベア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費（事業者負担分等を含む）の増加分に用いた額」の総額を合わせた額と比べて、同額以上となること。
- Vについて、「報告書届出年度の賞与の支給月数」は、本様式を届け出る年度の賞与の月数を記載する。なお、賞与等を月数ではなく、定額などの金額で支給している場合は、空欄でもよい。
- Vについて、「前年度の賞与の支給月数」は、本様式を届け出る年度の前年度に係る賞与の月数を記載する。なお、賞与等を月数賞与等を月数ではなく、定額などの金額で支給している場合は、空欄でもよい。

(保険薬局) _____ (令和 _____ 年度分)

| | |
|-------------|--|
| 保険薬局コード | |
| 保険薬局名 | |
| 同一グループ保険薬局名 | |
| 同一グループ保険薬局数 | |

I. 提出書類の種類

- 賃金改善中間報告書
- 賃金改善実績報告書

II. 賃金改善実施期間及びベースアップ評価料算定期間

(1) 賃金改善実施期間

| | | | | |
|--------------------|---|--------------------|--|----------|
| 令和 _____ 年 _____ 月 | ～ | 令和 _____ 年 _____ 月 | | _____ ヶ月 |
|--------------------|---|--------------------|--|----------|

(2) ベースアップ評価料算定期間

| | | | | |
|--------------------|---|--------------------|--|----------|
| 令和 _____ 年 _____ 月 | ～ | 令和 _____ 年 _____ 月 | | _____ ヶ月 |
|--------------------|---|--------------------|--|----------|

III. ベースアップ評価料による収入の実績額【(2)の期間中】

| | |
|--------------------------|---------|
| (3) 調剤ベースアップ評価料による収入の実績額 | _____ 円 |
|--------------------------|---------|

- 基本給等総額については1か月当たりの額を記載してください。
 ※ 「基本給等総額」とは、基本給等の合計をいい、賞与、期末・勤勉手当等特定の時期にのみ支払われる手当を含まない。
 ※ (9) のペア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費（事業者負担分等を含む。）等の増加分に用いた額も必ず記載すること
- 対象職員とは、当該保険薬局に勤務する職員をいう。
 ※ ただし、事業主、使用者、開設者、管理者、40歳以上の薬剤師並びに業務委託により勤務する者を除く。

【ベースアップ評価料対象職種について】

IV. ベースアップ評価料対象職員（全体）の月額賃金総額に係る事項

| | | |
|--|--|---|
| (4) 対象職員の常勤換算数【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 人 |
| (5) 当該評価料を算定した年度に勤務している対象職員の基本給等総額【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 円 |
| (6) 令和8年3月時点の給与体系を、当該年度に勤務している職員の賃金に当てはめた場合の対象職員の基本給等総額 | | 円 |
| (7) 基本給等総額に係る賃金改善実績額（ペア実績額）（1か月分）【(5) - (6)】 | | 円 |
| (8) ペア等による賃金増率【(7) ÷ (6)】 | | % |
| (9) 上記(8)以外で、ペア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費（事業者負担分等を含む。）等の増加分に用いた額 | | 円 |

V-1. 事務職員の基本給等総額に係る事項

| | | |
|--|--|----|
| (10) 対象職員の常勤換算数【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 人 |
| (11) 当該評価料を算定した年度に勤務している対象職員の基本給等総額【賃金改善実施期間(1)の開始月時点】 | | 円 |
| (12) 令和8年3月時点の給与体系を、当該年度に勤務している職員の賃金に当てはめた場合の対象職員の基本給等総額 | | 円 |
| (13) 基本給等総額に係る賃金改善実績額（ペア実績額）（1か月分）【(11) - (12)】 | | 円 |
| (14) ペア等による賃金増率【(13) ÷ (12)】 | | % |
| (15) 報告書届出年度の賞与の支給月数 | | か月 |
| (16) 前年度の賞与の支給月数 | | か月 |

V-2. 薬剤師の基本給等総額に係る事項

| | | |
|--|--|----|
| (17) 対象職員の常勤換算数【賃金改善実施期間（1）の開始月時点】 | | 人 |
| (18) 当該評価料を算定した年度に勤務している対象職員の基本給等総額【賃金改善実施期間（1）の開始月時点】 | | 円 |
| (19) 令和8年3月時点の給与体系を、当該年度に勤務している職員の賃金に当てはめた場合の対象職員の基本給等総額 | | 円 |
| (20) 基本給等総額に係る賃金改善実績額（ベア実績額）（1か月分）【（18）－（19）】 | | 円 |
| (21) ベア等による賃金増率【（20）÷（19）】 | | % |
| (22) 報告書届出年度の賞与の支給月数 | | か月 |
| (23) 前年度の賞与の支給月数 | | か月 |

VI. 保険調剤による収入の割合

| | | |
|------------------------------------|--|---|
| (24) 保険調剤による収入の総額【前会計年度における1年間の総額】 | | 円 |
| (25) 全ての収入の総額【前会計年度における1年間の総額】 | | 円 |
| (26) 保険調剤による収入の割合【（24）／（25）】 | | % |

※ 保険調剤による収入の総額：調剤報酬（保険外併用療養費を除く。）、介護保険、国、地方公共団体、保険者等が交付する補助金等に係るものの総額（労災保険に係るものを除く）。

VII. ベースアップ評価料による収入が対象職員へ充当されているか

| | | |
|--|--|-----------|
| (27) ベースアップ評価料による収入の実績額【（3）】 | | 円 |
| (28) 対象職員全体の賃金改善実績額における、保険調剤分（算定期間分）【（7）×（26）×（算定期間）】 | | 円 |
| (29) ベア等以外で、ベア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費（事業者負担分等を含む。）等の増加分に用いた額（算定期間分）【（9）×（算定期間）】 | | 円 |
| (30) 収入の実績額と賃金改善実績額の差分【（（28）＋（29））－（27）】 | | 円 |
| (31) ベースアップ評価料算定による収入額が対象職員への賃上げに実施されているか | | 賃金改善額充当済み |

本報告書の記載内容に虚偽が無いことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和 年 月 日

開設者名：

【記載上の注意】

- 「対象職員の常勤換算数」は、当該時点における対象職員の人数を常勤換算で記載すること。常勤の職員の常勤換算数は1とする。常勤でない職員の常勤換算数は、「当該常勤でない職員の所定労働時間」を「当該保険医療機関において定めている常勤職員の所定労働時間」で除して得た数（当該常勤でない職員の常勤換算数が1を超える場合は、1とする。）
- VIについて、大臣折衝において賃上げの実行性確保の観点から、「対象職員の賃金改善実績額」の総額が、「ベースアップ評価料により得られた収入額」の総額と「ベア等以外で、ベア等に伴う賞与、時間外手当、法定福利費（事業者負担分等を含む）の増加分に用いた額」の総額を合わせた額と比べて、同額以上となること。
- Vについて、「報告書届出年度の賞与の支給月数」は、本様式を届け出る年度の賞与の月数を記載する。なお、賞与等を月数ではなく、定額などの金額で支給している場合は、空欄でもよい。
- Vについて、「前年度の賞与の支給月数」は、本様式を届け出る年度の前年度に係る賞与の月数を記載する。なお、賞与等を月数賞与等を月数ではなく、定額などの金額で支給している場合は、空欄でもよい。